

青下の杜プロジェクトに関する協定締結式



(左から)中島執行役員、芳賀管理者、壺井支店長、清水支店長

広がる水源林保全の輪

仙台市水道局 青下の杜PJ

前澤グループ3社と協定

仙台市水道局は水源涵養林の保全育成を民間企業と協働で行う「青下の杜プロジェクト」について、新たに前澤グループ3社（前澤工業、前澤化成工業、前澤給装工業）と協定を結んだ。

10月28日に協定締結式が同局で行われ、仙台市の芳賀洋一水道事業管理者と前澤工業の清水竜一東北支店長、前澤化成工業の壺井達司北日本支店長、前澤給装工業の中島隆執行役員（東日本担当）

とそれぞれ協定書を交わした。

青下の杜プロジェクトは、同市水道の水源である青下ダムの周辺および上流部に市が保有する約86畧の水源涵養林の保全育成作業、水源林に関する周知・啓発活動を民間企業と協働で行うもの。令和2年1月に民間企業・団体9法人と協定を結び、令和2年度から活動を展開している。

もとで活動を実施。同社による呼びかけをきっかけに、前澤グループ3社による協定締結が実現した。

前澤工業の清水支店長は、自社の経営理念「水

とともに躍進し人間らしさを求め社会に貢献できる魅力ある企業」に合致するプロジェクトへの参画に期待を示した。

前澤化成工業の壺井支店長は、幅広い環境課題に取り組む中で直接的に水環境問題に寄与できる事業に加わったことに喜びを示し、協力に意気込

みを述べた。

前澤給装工業の中島執行役員は、「すべてのライフラインの礎となるもの」と水源林保全活動の意義を述べ「より積極的に協力していきたい」とグループとしての協定を新たなスタートと位置付けた。